

2025 年度 JAC セミナー

● テーマ「認定、それは中小企業の発展に力を与える」

日本認定機関協議会（JAC）では、広報活動の一環として、JAC セミナーを開催いたします。

JAC メンバーの加盟している国際認定フォーラム(IAF)と国際試験所認定協力機構(ILAC)は、「認定」の重要性を、より多くの方々に知ってもらう取り組みとして 6 月 9 日を「世界認定推進の日」(World Accreditation Day)と定め、毎年様々な認定に関わる社会的テーマに沿った広報活動を展開しています。今年のテーマは“**認定、それは中小企業の発展に力を与える**”(Accreditation: Empowering Small and Medium Enterprises(SMEs)) です。

本年度のセミナープログラムもこれに沿った、**認定、それは中小企業の発展に力を与える**をテーマに、ご紹介いたします。

皆様のご参加をお待ちしています。

- セミナープログラム：(本頁下よりご覧ください)
 - 日 時： 令和7年 **10月 3日** (金) 12：50～16：30
 - 会 場： NITE大阪事業所セミナールーム及びオンラインセミナー
- ※申込者に後日詳細をご連絡します。
- 定 員： 現地80名／オンライン定員なし ※**参加費無料**
 - お申込み： [JACホームページ セミナー受付ページ](#)
 - 主 催： 日本認定機関協議会 (JAC^{*1})
*1 詳しくは、最終頁「JACとは」をご覧ください。
 - お問合せ先： 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE) 認定センター(IAJapan)
E-mail: jac@nite.go.jp

セミナープログラム

12:50～12:55	開会挨拶	独立行政法人製品評価技術基盤機構 認定センター 所長 石毛 浩美
12:55～13:05	来賓挨拶	経済産業省 イノベーション・環境局 基準認証政策課 課長 有馬 伸明 様
13:05～13:25 (20分)	講演者	経済産業省 イノベーション・環境局 基準認証政策課 課長補佐 吉成 崇宏 様
	演 題	新たな基準認証政策の展開について
	概 要	経済産業省では、2023年6月に取りまとめた「日本型標準加速化モデル」に基づく産業界全体の標準化活動の底上げ支援に取り組んでいましたが、策定時からの環境変化を踏まえ、2025年6月に「新たな基準認証政策の展開－日本型標準加速化モデル2025－」を公表しました。 本講演では、我が国の標準化・認証の取組をさらに加速化するため日本型標準加速化モデル2025で提示した、特定分野における国主導の戦略的標準化と国内認証機関の強化の取組をご紹介します。
13:25～13:55 (30分)	講演者	日本認定機関協議会（JAC）事務局：独立行政法人製品評価技術基盤機構 認定センター（IAJapan） 独立行政法人製品評価技術基盤機構 フェロー（適合性評価戦略担当） 吉田 耕太郎
	演 題	JACからの情報提供（最新情報と活動報告）
	概 要	日本認定機関協議会（JAC）は、社会課題の解決に有用な適合性評価及びその制度のさらなる活用を目指し、提言や情報提供を行っています。今回は、第三者による評価に関する課題や取り組み、DX化に関する活動報告や、国際的な規格開発、改正状況に関する情報を提供します。
13:55～14:30 (35分) 【講演1】	講演者	全国油脂事業協同組合連合会 事務局長 塩見 正人 様
	演 題	廃食用油のSAF原料等への新たなリサイクルに関する取組とJAS制度の活用
	概 要	外食産業やコンビニエンスストアなどの食品事業者から排出される廃食用油は、これまで主に飼料用原料、石けんなどの工業用原料、バイオディーゼルなどの燃料用原料としてリサイクルされてきました。 加えて、近年では、持続可能な航空燃料（SAF）の原料として、さらに注目されています。ここでは、廃食用油のSAF原料等の新たな用途へのリサイクルに関する動向と、それに応じた廃食用油に関するJAS規格の制定、JAS認証を取得した事業者の取組について紹介します。
14:30～14:40	休憩	
14:40～15:15 (35分) 【講演2】	講演者	中小企業庁 経営支援部 創業・新事業促進室 係長 弓削多 宏貴 様
	演 題	「大阪・関西万博の展示（未来航路）」及び「創業・新事業促進政策」について
	概 要	10月3日（金）～10月7日（火）まで大阪・関西万博会場内（EXPOメッセ）で開催する体験型展示「未来航路－20XX年を目指す中小企業の挑戦の旅－」の展示内容についてご案内いたします。本展示では、自社の強みを活かして社会課題の解決に挑戦し、未来へ進んでいく中小企業を「未知の大海への航海に繰り出す挑戦者」に見立て、未来思考の製品、サービス、技術等を5つの価値（テーマ）に分けて紹介します。あわせて、万博を契機としたビジネスマッチングに向けた取組として中小企業基盤整備機構が運営するビジネスマッチングサイト「J-GoodTech」等についてもご紹介いたします。 また、新たな起業や事業への挑戦を促進するために、多角的なアプローチで中小企業の創業・新事業展開を支援する政策についてもご紹介いたします。
15:15～15:50	講演者	株式会社村上衡器製作所 代表取締役 村上 昇 様

(35分) 【講演3】	演 題	JCSS質量分野の普及と変遷
	概 要	1906年に棹(さお)はかり製造事業者として大阪市内で創業した弊社は、90年後の1996年に国内2番目の質量分野のJCSS認定事業者になりました。 以来、質量標準トレーサビリティ体系に則った質量標準分銅メーカーとして、そしてISO/IEC17025認定事業者として、関西圏だけでなく全国の製薬業・食品業を中心とした顧客から多大なる信頼を受けて計量管理の分野で事業を発展させてきました。本講演では、その変遷と業務の実態、顧客企業との共創と今後の展望について実例を交えて紹介します。
15:50～16:25 (35分) 【講演4】	講演者	一般社団法人生成AI活用普及協会（GUGA） AIMS委員会 ワークワンダース株式会社 代表取締役CEO 安達 裕哉 様
	演 題	中小企業における生成AI活用の現状
	概 要	生成AIの急速な進化により、企業の業務効率化や価値創出の可能性が広がっています。本講演では、長年にわたりコンサルティング業界で活躍し、現在は生成AIの普及と実践に取り組む安達裕哉氏が、中小企業における生成AI導入の最新事例を紹介します。 さらに、AI活用を推進する上で不可欠な「AI人材育成」のポイントや、国際標準であるISO/IEC 42001（AIMS認証）が中小企業にもたらすメリットについて、実務的な視点から解説します。
16:25～16:30	閉会挨拶	公益財団法人日本適合性認定協会 専務理事 森内 譲

* 上記プログラムの講演題目・内容は変更することがあります。予めご了承ください。

日本認定機関協議会(JAC)とは

日本認定機関協議会(Japan Accreditation Council: JAC)は、我が国全体として、認定機関の信頼性と技術レベルの向上を図るとともに、日本の適合性評価制度全体の信頼性・透明性の向上に寄与することを目的に、認定制度の啓発・普及活動のために必要な活動を行っています。現在は以下の5機関で構成されています。



株式会社電磁環境試験所認定センター
(VLAC)

<https://www.vlac.co.jp/>



独立行政法人製品評価技術基盤機構 認定センター
(IAJapan)

<https://www.nite.go.jp/iajapan/>



公益財団法人日本適合性認定協会
(JAB)

<https://www.jab.or.jp/>



一般社団法人情報マネジメントシステム
認定センター (ISMS-AC)

<https://isms.jp/>



独立行政法人農林水産消費安全技術センター
認定センター (FAMIC/JASaff)

<http://www.famic.go.jp/jasaff/>